

週間市場レポート (2020年4月6日~4月10日)

1) 先週の市場動向

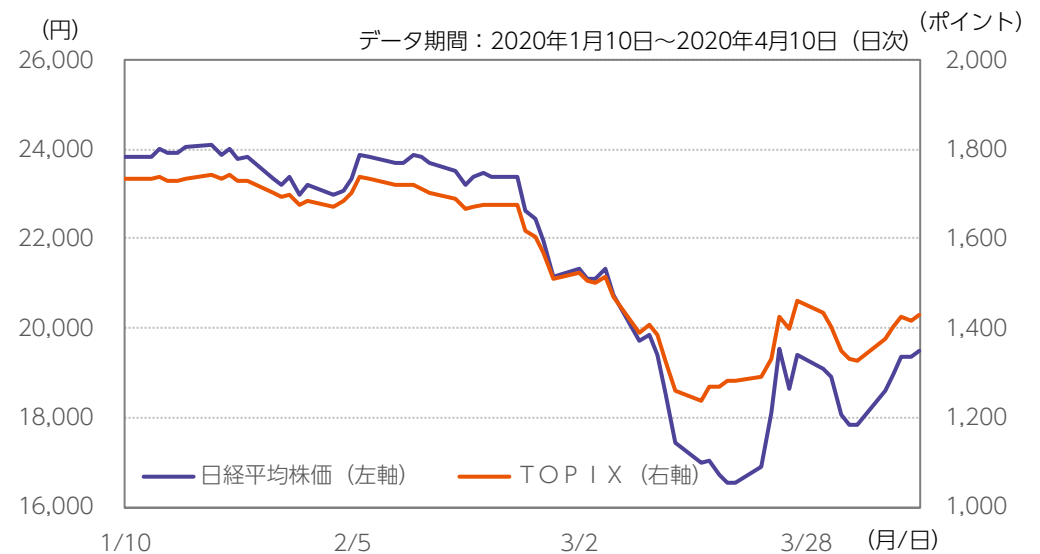
指数名	国	前週末 2020/4/3	先週末 2020/4/10	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		17,820.19	19,498.50	9.42 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,325.13	1,430.04	7.92 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		21,052.53	*23,719.37	12.67 ↗
S & P500種指数		2,488.65	* 2,789.82	12.10 ↗
ユーロ・ストックス50指数		2,662.99	* 2,892.79	8.63 ↗
S & P/ASX300指数		5,021.39	* 5,341.51	6.38 ↗
上海総合指数		2,763.99	2,796.63	1.18 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)*		690.92	728.25	5.40 ↗
東証REIT指数		1,436.37	1,547.47	7.73 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		546.02	* 667.55	22.26 ↗
ASX300 REIT 指数		1,002.00	* 1,156.60	15.43 ↗
グローバルREIT (除く日本)*		129.78	157.19	21.11 ↗
日本10年国債 (%)		▲ 0.01	0.02	0.03 ↗
米国10年国債 (%)		0.59	0.72	0.12 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.44	▲ 0.35	0.09 ↗
英国10年国債 (%)		0.31	0.31	▲ 0.01 ↘
ドル/円		108.55	108.47	▲ 0.07 ↘
ユーロ/円		117.13	118.57	1.23 ↗
英ポンド/円		133.22	134.86	1.23 ↗
豪ドル/円		65.06	68.86	5.85 ↗
フィラデルフィア半導体指数		1,443.04	* 1,601.73	11.00 ↗
WTI原油先物 (ドル)		28.34	* 22.76	▲ 19.69 ↘
CRB指数		127.96	* 127.82	▲ 0.11 ↘
アレリアンMLP指数		496.48	* 544.04	9.58 ↗

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

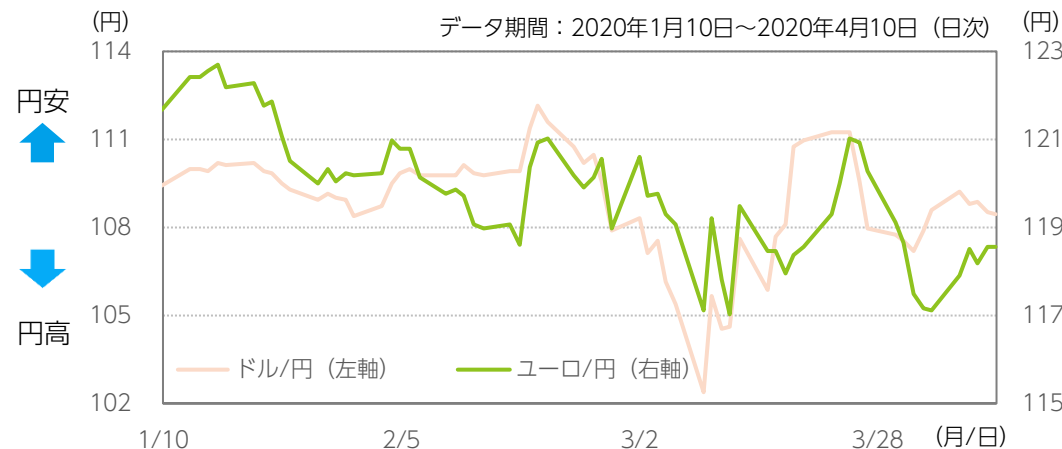
日本株式市場 (日経平均株価) は、前週末比で上昇しました。

欧米における新型コロナウイルス感染者の増加ペースが鈍化したとの見方が広がったことや、政府による緊急事態宣言を受け、今後は感染者数の増加に歯止めがかかるとの期待が高まったことなどから、週を通じて上昇基調となりました。



4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。
 新型コロナウイルスの感染拡大ペースが米欧などで鈍るとの期待を受け、投資家のリスク選好姿勢が高まり円売り米ドル買いが進む場面もあったものの、先行きの不透明感は根強く、週間では前週末比でほぼ横ばいとなりました。



≪ 債券 ≫

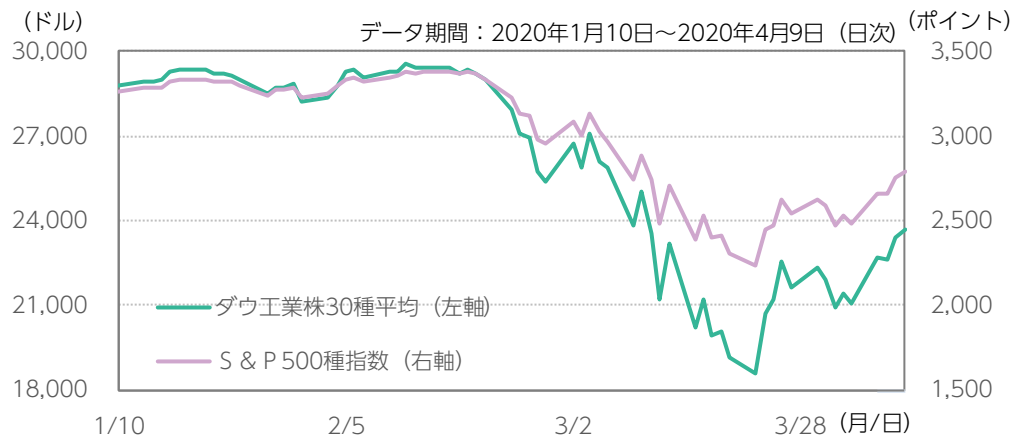
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇しました。
 日経平均株価の上昇を受け投資家の警戒感が和らいだことから、相対的に安全資産とされる債券は売りが優勢となりました(利回りは上昇)。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇しました。
 新型コロナウイルスの感染拡大がピークを一つつつあるとの見方が広がったことや、政府による企業への資金支援プログラムが好感されたことなどから、週を通じて上昇基調となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

5) 今週の見通しについて

欧米において新型コロナウイルスの感染拡大ペースが鈍化しつつあるとの見方が広がったことや、米国政府が企業への資金支援プログラムを公表したことなどを受け、投資家のリスク選好姿勢がやや強まったことから、先週の株式市場は日米両市場ともに前週末比で上昇となりました。

ニューヨークにおいて1日の感染者数が初めて前日を下回るなど、欧米において新型コロナウイルスの感染拡大に終息の兆しが見え始める一方、日本国内の感染者数は東京都などを中心に増加を続け、安倍首相は7日（火）に緊急事態宣言を発令しました。今後は、各国政府が打ち出した対策により感染拡大が終息に向かうかどうか注目が集まりそうです。

今週公表予定のIMF（国際通貨基金）の世界経済見通しなど、今後公表される経済指標などから、新型コロナウイルスの実体経済への悪影響が改めて認識されると考えられます。主要国の経済対策などの効果が現れ始めるまでは、株式市場は日米両市場ともに引き続き上値の重い展開となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>